

Veeam Backup for AWS

AWS クラウドのバックアップと復元

課題

Amazon Web Services (AWS) は、自前のインフラストラクチャを保有しなくてもアプリケーションの作成・展開ができる堅牢なプラットフォームです。ただし、AWS の責任共有モデルで言及されているとおり、ユーザーのアプリケーションやデータを安全に保護する責任は、ユーザーが負うことになります。



Veeam® Backup for AWS はポリシーベースのネイティブ保護で、意図せぬ削除やランサムウェアといったデータ消失シナリオからの確かな復元を実現します。API ファーストのアプローチ、セキュアなバックアップ、フルレベル/ファイルレベルのリストアにより、簡単かつコスト最適化された復元性のある保護が可能。時間と人員を IT の戦略的優先事項に充てることができます。

ハイブリッドクラウド、マルチクラウドを利用している Veeam ユーザーの変化

110万ドル

年間平均コスト
削減額

+61%

セキュリティコスト
の効率の向上率

7倍

クラウドワークロード
の復元速度の向上率

主な機能

リレントレスセキュリティ

- 論理的エアギャップ: 分離バックアップで本番データから隔離して保護
- セキュアなアクセス: 最低限の権限を付与した IAM とロールベースのアクセス制御 (RBAC)
- イミュータブル、暗号化: WORM 状態と暗号化でデータの整合性を確保

クラウド効率

- コスト最適化: オブジェクトストレージへのバックアップライフサイクル設定、圧縮、コスト予測
- ハイブリッド対応: ハイブリッドクラウドとマルチクラウドで運用の一貫性のある管理
- ポリシーベース: 自動検出、ネイティブバックアップによる保護

高速で信頼性の高い復元

- どこにでも復元: プロジェクトやリージョン、プラットフォーム*をまたいだリストア
- フルレベル、ファイルレベル: インスタンス全体も細かい復元も、インプレースでも新規でも
- シンプルな復元操作: ウィザードによる、自動化されたセルフサービスのワークフロー

最新リリース

- Amazon S3 バックアップ: オンプレミスでもクラウドでホストされている Veeam リポジトリでも、Amazon S3 バケットオブジェクトを任意の場所にバックアップ・復元
- イミュータブルな Amazon RDS バックアップ: バックアップとリストアのきめ細かい IAM ロールをサービス単位で付与することで、リソースへのアクセスの安全性を強化
- Amazon DynamoDB バックアップ: アプリのパフォーマンスに一切の影響を与えず、NoSQL DynamoDB テーブルのバックアップ・保持・リストアを完全に自動化

*Veeam Backup & Replication™ と併用した場合

サポートされるサービス

サポートされるサービス

コンピューティング	データベース	ストレージ	ネットワーク
<p>EC2</p>	<p>RDS</p> <p>DynamoDB</p> <p>Aurora</p>	<p>S3</p> <p>EFS</p> <p>EBS</p>	<p>VPC</p>

「Veeam Backup for AWS は、最高の機能を全て備えた Veeam のすばらしいオンプレミス・バックアップ・ソリューションからそのまま進化を遂げた製品です。AWS 向けに進化したからといって機能に妥協はなく、むしろ、デプロイの作業がはるかに簡単になり、すぐに利用を開始できます。通常の AWS バックアップよりも、完成度の高い機能セットが搭載されていると言えるでしょう。」

サワン・ジョシ氏

Firstport LTD、情報セキュリティ担当ディレクター

6万9千社以上 45万社以上

Veeam のお客様で従業員数が 1,000 人以上の組織

Veeam を導入している全世界のお客様の数

72%

Veeam を使用している Global 2000 企業の割合

81%

Veeam を使用している Fortune 500 企業の割合

